

## 新潟工科専門学校 シラバスの作成ガイドライン

### 1. シラバスとは何か

#### (1) 学生に対する授業契約書

学生との契約事項になるとともに、社会への説明責任に応えることとなります。

#### (2) 学習の指針

シラバスは、学生が授業中や授業外で学習を行うための指針を示すものです。学生は、シラバスの項目に記載された情報に基づいて、準備学習などを行います。

#### (3) 授業改善のための具体的材料

シラバスを作成する過程で、授業目標を考えたり、授業計画を具体的に構想したり、成績評価方法を具体的に検討したりすることを迫られます。この作業は自分の授業を見直す良い機会となります。又、半期終了後に授業を総括し、一層の改善を図るための重要な契機となります。

#### (4) シラバス作成・公表

シラバスは前年度末までに作成・公表することが教員の義務です。

### 2. シラバスの書き方

#### (1) 授業内容と方法

- ・ 授業科目をめぐる問題状況、背景、授業内容の必要性などについて必要に応じて簡潔に触れます。
- ・ 授業内容を具体的に記述します。その際、全体が見えるように、いくつかまとめて包括的に記述します。
- ・ 学生が理解できるように、分かりやすい言葉で記述します。専門用語は多用しません。
- ・ 教員の視点から、〇〇について「説明する」「解説する」等々を記述します。
- ・ 授業方法については、講義、実習、実験などその授業科目で行われる授業方法を記述します。

#### (2) 到達目標

- ・ (1) の授業内容と同じ記述にせず、授業内容の学習達成事項を具体的に記述してください。
- ・ 学生の視点から、〇〇について「理解する」「説明できる」など、行動目標を中心として記述します。

(3) 評価方法と成績評価基準

- ・この項目は、到達目標と同じく、学生に対する契約、とりわけ評価の最も重要な項目です。学生の成績への異議申し立てに対して、重要な説明根拠となります。
- ・到達目標の実現にとってこの評価方法と成績評価基準が妥当であると説明できなければなりません。
- ・到達目標欄に記された各目標と対応した成績評価基準を記述します。
- ・「総合的に評価する」という記述ではなく、試験、レポート、小テスト、作品の完成度、授業への取組姿勢などの評価割合を示します。

(4) 事前学習（準備学習）

- ・授業外学習（準備学習）が必要な場合その指示を記述します。
- ・準備学習についてその内容を記述してください。

(5) テキスト・教材・参考図書など

- ・授業の準備に役立つようにするために、記述してください。

(6) 履修上の注意

- ・学生が授業を履修するに当たり教員からのメッセージを記述してください。
- ・特にその授業の特性が将来の実務にどのような影響があるかや、その授業への取組姿勢を求めるものであります。